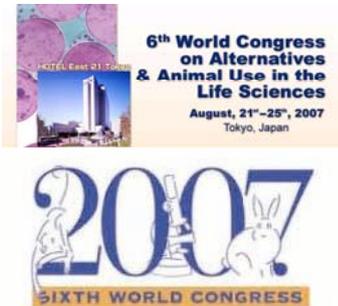




2007 年（平成 19 年）8 月 10 日

2007 年 8 月から
「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を実施
研究者には総額 500 万円を助成
第 6 回国際動物実験代替法会議（8/21～25 東京）で紹介します



株式会社マンダム（本社：大阪市、社長執行役員：西村元延 以下マンダム）は、動物実験全廃に向けた動物実験代替法の開発に取り組んでおります。その研究の一環として、今回「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行います。また、8 月 21 日～25 日に開催される「第 6 回国際動物実験代替法会議（東京）」へプラチナスポンサーとしての参加を予定し、マンダムの動物実験代替法開発への取り組みを紹介いたします。

【動物実験代替法が開発される背景】

近年世界各国で動物愛護運動が高まってきています。それに伴い、欧州連合（EU）では、2004 年から化粧品製品の動物実験は全面禁止となり、また化粧品の原料についても、2009 年に全ての動物実験が禁止になります。さらに、2013 年には動物実験を行った原料を含む化粧品の製品すべてが販売禁止になります。

日本でも、3Rs（Replacement：動物実験の置換、Reduction：動物使用数の削減、Refinement：実験時の動物への苦痛の軽減）の概念に則って、動物愛護の観点から動物実験の見直しが社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性と機能性は、様々な方法で確認する必要があります。マンダムでは、現在可能な限り動物を使用しない方法にて評価を行っていますが、今後さらなる安全性確保と機能性追及のためには、より進んだ動物実験代替法の開発が急務課題となっています。

現在3Rsの中でも、「Replacement」に着目し、動物実験全廃に向けた代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、今回の研究助成金による動物実験代替法研究助成金公募を行います。

【動物実験代替法マンドム国際研究助成金公募】

さらに動物実験代替法に関する研究を進めるために、「動物実験代替法マンドム国際研究助成金公募」を行い、世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募ります。

本助成金の目的は、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることにあります。代替法分野の研究が活性化することによって、社会に貢献することが可能であると考えます。

募集要項

- | | | | |
|---------|----------------------------|-----------|-----------|
| ①テーマ | 動物実験代替法に関する研究（研究分野は問わない） | | |
| ②助成内容 | 1件あたり50万円～200万円、総額500万円/年間 | | |
| ③スケジュール | 2007年 | 8月1日(水) | 募集開始 |
| | | 12月31日(月) | 募集締切 |
| | 2008年 | 1月初旬～ | 選考開始 |
| | | 1月下旬 | 助成対象者発表 |
| | | 4月1日(火) | 助成開始（1年間） |

募集要項詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。

日本動物実験代替法学会 HP (URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsaae/index.html>)

【マンドムは第6回国際動物実験代替法会議にプラチナスポンサーとして参加します】

アジアで初めて開催される「第6回国際動物実験代替法会議」にプラチナスポンサーとして参加を予定し、マンドムの動物実験代替法への取り組みを紹介します。

当会議は、2年に1度(前回までは3年に1度)開催される動物実験代替法に関する国際的な会議で、前は2005年にドイツで開催されました。

国際会議ということもあり、全世界から多くの専門家が集まるため、動物愛護における意識の向上や、動物実験代替法分野の活性化が期待されます。



前回ドイツ・ベルリンでの大会の様様

・第6回国際動物実験代替法会議開催概要

場所： Hotel East 21 Tokyo(東京都江東区東陽 6-3-3)

期間： 2007年8月21日(火)～25日(土)

主なスケジュール：

ブース展示 8月22日(水)～25日(土)

マンダムセッション 8月25日(土) 10:15～12:15

・マンダムセッション 化粧品分野における新規評価技術 (セッションNo. 8-6)

座長 民谷栄一先生 (大阪大学)、辻野義雄 (株式会社マンダム中央研究所 副所長)

	演者	演題	所属
1	松永司先生	太陽光紫外線で誘発されるDNA損傷とその細胞応答のインビトロアッセイ系	金沢大学大学院自然科学研究科
2	藤田郁尚研究員	TRPチャネルの感覚刺激代替評価への応用	株式会社マンダム中央研究所
3	堀修先生	培養細胞系を用いた小胞体ストレス制御物質の探索とその応用	金沢大学大学院医学系研究科
4	高木昌宏先生	小胞体ストレス応答とその機能性食品・化粧品評価における利用	北陸先端科学技術大学院大学 (JAIST)
5	民谷栄一先生	動物代替細胞チップの開発	大阪大学

詳細な情報は以下のHPをご覧ください。

「第6回国際動物実験代替法会議」HP (URL: <http://www.ech.co.jp/wc6/>)

なお、当会議中、展示ブースにおきまして、前述の「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」・「マンダムセッション」・「マンダム海外グループ」についての展示も行います。

以上

本件に関するお問合せ先 株式会社マンダム PR 担当 酢谷(すたに) TEL 06-6767-5013 FAX 06-6767-5041 sutani-k@mandom.co.jp
--